

学校運営協議会会議録

様式2

学校名 三谷小学校

記録者 菅野 至

開催日時	令和6年12月14日
開催場所	校長室
出席者(委員)	皆川会長、小林委員、山室委員、小美野委員、手嶋委員 宮内委員、石黒委員、宮内委員、町田委員、入倉校長
出席者(学校)	菅野
傍聴者人数	0

会議内容(次第順)

【報告事項】

- 校長より
 - ・2年生遠足 ・5年和食器給食 ・短なわグランプリ ・校内研究「国語」について
 - ・移動教室白樺湖方面の宿泊施設実地踏査(校長) ・本日の音楽会について
- 2学期の教育活動について
 - ・主に、行事を通して
- 教育課程のより良い実現に向けて
 - ・3つのキーワード【自立(律)】【協働】【創造】 ・地域の特色を生かす
 - ・通知表の形式について
- 学校支援本部の活動報告
 - ・1年生生活科見学引率 ・2年生まちはっけん支援 ・伝統文化子供教室 ・連絡会 ・さんや放課後学習スペース
 - ・別室指導支援開始 ・ミシン授業支援 ・5年和食器給食の配膳支援 ・野草園授業支援 等
- その他 ・CS、支援本部、PTA、地域の方の集まる情報交換をするような集まりをできるとよい。

【協議事項】

- 2学期の教育活動について(振り返り)
 - ・児童の行事への意識の変化 ・苦手なことに取り組もうとするときの一步や気持ち
- 教育課程のより良い実現に向けて
 - ・3つのキーワード【自立(律)】【協働】【創造】 ・地域の特色を生かす
 - ・通知表の形式について 所見欄について
- 支援本部の活動
 - ・コロナウィルス5類移行より、1、2年生の元気のよさを実感しています

主な意見

【報告事項】

- 移動教室の宿泊場所は、毎年かわるのか？→今後はかわることはないと思う。
- 音楽会 ・児童の協力し合う、助け合う様子が見られてとてもよかった。

【協議事項】

- 2学期の教育活動について
 - ・児童の実態
 - (児童の様子や支援の方法について。活動自体に参加しようとしないう児童への対応が増えている。別室指導の児童の中で音楽会に参加できる子もいた。)
 - 一人一人に合った支援の方法、何がよいのか？
 - (苦手なことに取り組めない児童。多様性の捉え方。)
 - 家庭の協力はとても重要。学校、担任だけではなかなか対応が難しい。
- 教育課程のよりよい実現に向けて
 - ・社会に向けて、社会に対応できる子供を育てられるように
 - 【自立(律)】【協働】で 苦手だけどやろうとする気持ちを育てる
 - ・リーダーが育たないのはなぜか
 - 主張すると目立って、かえって責められる対象になる社会全般の様子もある。
 - 子供の関わり方の変化。ネット社会の中の影響もあるかも知れない。
- 通知表について(学校での様子を各ご家庭に伝えるために)
 - ・経験では直接会ってお話ができる面談がとてもよかった。
 - ・学校から保護者にも考えを聞いてみたいと考えている。

次回の会議日程

日時	1月18日(土) 11時から
会場	校長室